

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

■科目基本情報

科目名	声優演技	科目コード	8700
シラバスコード	196D5D-8700		
授業時数/週	2時間		
開講年次・学期	1年次・通期		
必修/選択区分	必修		
担当教員	大橋正幸		
教員の実務経験	実務経験のある教員による授業科目		
職業実践専門課程	企業等と連携した実習・演習	連携企業等	一般社団法人日本朗読検定協会
備考			

■科目詳細情報

授業概要	「声の表現者」としての基礎演技を理論/実践を通じて習得する。	
到達目標（前期）	業界知識習得から発声・滑舌・アクセント基礎をはじめ、多様な表現アイテム（日本語表現の原則他）の習熟する。	
到達目標（後期）	一般的な朗読（読聞せ）～高度なナレーション/アナウンス原稿、またオーディオドラマ/ゲーム等の習熟。	
授業方法	講義、視聴、実習、演習、レポート	
実践的教育の内容	担当教員（大橋）：大学で演劇を専攻～卒業後TDLエンターテイメント部を経て、イベント事業監修～プロ劇団所属。後に芸能事務所在籍し、VP/ナレーション/ドラマ/WEBアニメ等の現場と学校法人勤務を15年継続、声優/芸能等の業界経験を積み現在に至る。●理論～実践の両面から、多角的に指導を施し初級～応用へと着実にステップアップを図る。（※テキストは現場仕様～オリジナル迄 多岐に亘り、映像・音源資料を随所で取り入れつつ、受講者の興味を喚起する）	
評価方法（前期）	①科目別出席率：50% ②前期開催期間中、5回のペーパーテストもしくは課題レポートを実施し各10点換算の合計点：50% 以上 ∴①+②=成績評点	
評価方法（後期）	①科目別出席率：50% ②後期開催期間中、5回のペーパーテストもしくは課題レポートを実施し各10点換算の合計点：50% 以上 ∴①+②=成績評点	
授業外における学修	後期授業終了後に「朗読検定」対策講義有●企業連携授業、学内「後期末試験」期間中に「検定」受験（全員）予定	
授業計画（前期）	第1週 ・「業界講座①」/「発声・滑舌・アクセント基礎①」 ・映像×テキストで業界知識を解説/アクセント辞典×Na原稿で基礎スキルを解説	
	第2週 ・「業界講座②」/「発声・滑舌・アクセント基礎②」 ・映像×テキストで業界知識を解説/アクセント辞典×Na原稿で基礎スキルを解説	
	第3週 ・「業界講座③」/「発声・滑舌・アクセント基礎③」 ・映像×テキストで業界知識を解説/アクセント辞典×Na原稿で基礎スキルを解説	
	第4週 ・「集中練習課題①（五十音早口）」/Vomic @『電波教師』① ・発声・滑舌 初級応用/コミック台本を通じて言語表現のポイントを解説	
	第5週 ・「集中練習課題①（五十音早口）」/Vomic @『電波教師』② ・発声・滑舌 初級応用/コミック台本を通じて言語表現のポイントを解説	
	第6週 ・「集中練習課題①（五十音早口）」/「読聞せ『オオカミの大しくじり』」① ・発声・滑舌 初級応用/朗読台本を通じて言語表現のポイントを解説	
	第7週 ・「集中練習課題①（五十音早口）」/「読聞せ『オオカミの大しくじり』」② ・発声・滑舌 初級応用/朗読台本を通じて言語表現のポイントを解説	
	第8週 ・「表現アイテム集中講座①」/「集中練習課題②（競馬実況）」 ・言語表現のポイントを理論的に検証/発声・滑舌トレーニングを数値化し、目標を明確化。	
	第9週 ・「表現アイテム集中講座②」/「集中練習課題②（競馬実況）」 ・言語表現のポイントを理論的に検証/発声・滑舌トレーニングを数値化し、目標を明確化。	
	第10週 ・「表現アイテム集中講座③」/「集中練習課題②（競馬実況）」 ・言語表現のポイントを理論的に検証/発声・滑舌トレーニングを数値化し、目標を明確化。	
	第11週 ・「表現アイテム集中講座④」/「集中練習課題②（競馬実況）」 ・言語表現のポイントを理論的に検証/発声・滑舌トレーニングを数値化し、目標を明確化。	
	第12週 ・「アーティキュレーション集中講座①」/「集中練習課題③（文学）」 ・滑舌やアクセントを再度系統立て理解する/文学作品を使い応用実践	
	第13週 ・「アーティキュレーション集中講座②」/「集中練習課題③（文学）」 ・滑舌やアクセントを再度系統立て理解する/文学作品を使い応用実践	
	第14週 ・「アーティキュレーション集中講座③」/「集中練習課題③（文学）」 ・滑舌やアクセントを再度系統立て理解する/文学作品を使い応用実践	
	第15週 ・「アーティキュレーション集中講座④」/「集中練習課題③（文学）」 ・滑舌やアクセントを再度系統立て理解する/文学作品を使い応用実践	
	第16週	前期考査①：前期クロージング（実技査定）●評点
	第17週	前期考査②：前期クロージング（筆記査定）●評点

授業計画（後期）	第18週	・CMナレーション@4シーズン～マルチver① ・設定と音質の関連性を実践から学ぶ（第1回目）
	第19週	・CMナレーション@4シーズン～マルチver② ・設定と音質の関連性を実践から学ぶ（第2回目）
	第20週	・発声・滑舌応用～実践①『ONE PEACE』OP ・テンポ感覚（ペース配分）と言語表現の調和を理解（第1回目）
	第21週	・発声・滑舌応用～実践①『ONE PEACE』OP ・テンポ感覚（ペース配分）と言語表現の調和を理解（第2回目）
	第22週	・発声・滑舌応用～実践②「劇場版『名探偵コナン』」OP ・プレス×フレーズ＝緊張感の演出（第1回目）
	第23週	・発声・滑舌応用～実践②「劇場版『名探偵コナン』」OP ・プレス×フレーズ＝緊張感の演出（第2回目）
	第24週	・朗読応用『ブッダ』（群読脚本）① ・ヴォイスアンサンブルの習得（第1回目）
	第25週	・朗読応用『ブッダ』（群読脚本）② ・ヴォイスアンサンブルの習得（第2回目）
	第26週	・オーディオドラマ『愛の武将 直江兼統』（歴史劇）① ・”時代言語”に習熟、格調高い言語表現の習得（第1回目）
	第27週	・オーディオドラマ『愛の武将 直江兼統』（歴史劇）② ・”時代言語”に習熟、格調高い言語表現の習得（第2回目）
	第28週	・Duoドラマ「ピロシキ」（会話コメディ）① ・ショートコトの実践を通じ、テンポ/ボルテージのセルフコントロールを理解（第1回目）
	第29週	・Duoドラマ「ピロシキ」（会話コメディ）② ・ショートコトの実践を通じ、テンポ/ボルテージのセルフコントロールを理解（第2回目）
	第30週	・オーディオドラマ『あ、阿部礼司』（アンサンブルコメディ）① ・言語表現/演技表現に於いてダイバーシティを体現する。（第1回目）
	第31週	・オーディオドラマ『あ、阿部礼司』（アンサンブルコメディ）② ・言語表現/演技表現に於いてダイバーシティを体現する。（第2回目）
第32週	・オーディオドラマ『あ、阿部礼司』（アンサンブルコメディ）③ ・言語表現/演技表現に於いてダイバーシティを体現する。（第3回目）	
第33週	・後期考查①：後期クロージング（実技査定）●評点	
第34週	後期考查②後期クロージング（筆記査定）●評点	
教科書・教材	担当教員がテキスト作成し、都度配布	
参考文献・資料	・「日本語発音アクセント 新辞典」NHK出版社	
履修上の留意点	ノート/筆記用具/ファイルブック 持参 ● 配布物 - 多	